

漢字の大部分は二つ以上の部首の組み合わせによってできているが、その組み合わせ方に次の七種類がある。



左右に分けられる場合、左の部分を扁と言う。形声字の場合

は、扁は形(意味)を表わすことが多い。

人(人扁)	人の意味	.....	仕・休・作
王(玉扁)	玉の意味	.....	球・珠・理
阝(小里扁)	崖の意味	.....	陸・防・院
示(示扁)	神の意味	.....	神・社・礼
衤(衣扁)	衣類の意味	.....	初・複・補
忄(立心扁)	心の意味	.....	性・情・快
貝(貝扁)	財貨の意味	.....	財・貯・購
金(金扁)	金属の意味	.....	銀・銅・鉄
月(月扁)	月の意味	.....	臙・跳・肱
月(肉月)	肉体の意味	.....	腹・腸・腦
禾(ノ木扁)	稻の意味	.....	稻・秋・種
犴(獸扁)	獸類の意味	.....	狩・犯・狂

巾(巾扁)	衣類の意味	.....	帆・帽・幅
彳(行人扁)	道の意味	.....	行・役・後
氵(三水)	水の意味	.....	海・湖・波

同じ“月”でも、月の意味の場合は、“月扁”と呼ぶが、肉体の意味の場合は“肉月”と呼ぶ。これは、もと“肉”だったのが省略され変形して“月”という形になったからである。ほかに、“舟”が省略変形して“月”になったものもあり、これを“舟月”と呼ぶ。「朕・前・朝」の月は“舟月”である。

阝は、旁に用いられる“大里”と同じ形なので、“小里”と呼ばれる。しかし、意味は全く似ても似つかぬ“崖”である。したがって、石井方式では“崖扁”と名づけているが、本書では世間の誤った名称に従った。阝が左にあるか、右にあるかで、意味が全く異なることに注意すること。ただし、“隣”は、もと“鄰”であって、これは“大里”である。これだけは例外。



左の扁に対して、右は旁と言う。形声字の場合、扁が多く

“形”を表わし、旁は“声(発音)”を表わすが、次の旁は“形”を表わす。

- 頁(大貝)頭の意味.....頭・顔・額
- 阝(大里)邑の意味.....都・郡・郷
- 彡(三旁)飾の意味.....形・彫・杉

“頁”は、貝に似た字形なので大貝と呼ばれるが、意味は全くこれに関係ない。鼻(自が本字)を中心とした顔、もしくは頭を意味する部首。石井方式では“顔旁”と呼ぶ。

“阝”は、旁では大里の名のとおり“町”の意味を表わす部首。

邑の略形“阝”の変形。

“隹”は鳥の古い形。鶏も古い形は難。

“欠”は、“𠂔”で大きな口を開いてあくびをしている象形。“口を開く”意味を表わす部首。“欠”と字形が似ているため混同する誤りが多いが、意味を考えればまちがえることはない。

- 隹(旧鳥)鳥の意味.....雄・雜・難
- 立(立刀)刀の意味.....判・別・創
- 力(力)努力する意味.....勤・動・励
- 欠(欠)口を開く意味.....歌・飲・吹
- 殳(ル又)武器を持つ意字.....殺・役・殴
- 夂(ノ文)鞭を持つ意味.....政・教・牧

これらの傍の場合は、多く扁が音を表わすが、“杉”“牧”のように傍が音を表わす例もある。



上と下とに分けられる場合、上の部分を“冠”と言う。また“頭”

と呼ぶものもある。扁と同じく意味を表わすものが多い。

- 宀(ウ冠)家の意味.....家・安・客
- 宀(穴冠)穴の意味.....空・究・窓
- 艹(草冠)草の意味.....草・花・英
- 竹(竹冠)竹の意味.....筆・管・等
- 雨(雨冠)気象の意味.....雪・雲・電
- 夂(発頭)両足をそろえた形.....発・登・癸

 <sup>おいがしら</sup> (老頭) 老人の意味.....老・考・孝

 <sup>やまいだれ</sup> (病垂) 病気の意味.....病・痛・疲

 <sup>とだれ</sup> (戸垂) 戸の意味.....肩・房・扇

 <sup>しかばね</sup> (屍) 人の意味.....居・屈・属



下の部分は“脚”と言う。また“脊”と呼ぶこともある。冠が意味

を表わすときは脚が音を表わすが、次の脚は意味を表わす。

 <sup>ひとあし</sup> (人脚) 人の意味.....兄・光・先

 <sup>さら</sup> (皿) 容器の意味.....盛・益・盟

 <sup>レンガ</sup> (連火) 火の意味.....照・熱・然

 <sup>したごころ</sup> (下心) 心の意味.....恭・慕

 <sup>したみず</sup> (下水) 水の意味.....泰・求

儿・灋・心・水は、それぞれ、人・火・心・水の変形したもので、古い字体では全く同じ形であった。



上から下に垂れ下がった形のものを“垂”と言う。扁と冠とを

兼ねたような形をしている。次の垂は、意味を表わす。

 <sup>ガンだれ</sup> (雁垂) 崖の意味.....原・厚・圧

 <sup>マだれ</sup> (麻垂) 広い家の意味.....店・府・庭

尸は古い形が“尸”であるから、人がからだを伸ばして楽にいる形を表わしたものである。“尸”が意味を表わし、“古”がその音を表わす。居は楽にいる意味。屈は、人が外に出るとき、身を“かがめる”意味。昔は出入口が小さかったからである。会意字。



扁と脚とを兼ねた形をしているものを“遶”と言う。遶とは“とり

まく”という意味の字である。次の遶は意味を表わす。

 <sup>シンニョウ</sup> (進遶) 道を行く意味.....進・送・近

 <sup>エン</sup> (延遶) 遠く行く意味.....延・建・廷

 <sup>ソウ</sup> (走遶) 走る意味.....起・越・趣

走遶の字は走から書き始めるが、進遶と延遶とは旁を先に書いてから遶をあとに書く。走は“土”が“はしる”意味を表わす。土と区別するために“あし”を加えた。



外側を囲むような形をしたものを、“<sup>かまえ</sup>構”と言う。“<sup>囗</sup>”や“<sup>匚</sup>”

のように三方を囲んだもの、“<sup>勹</sup>”や“<sup>乚</sup>”のようなものも構と  
言う。次の構は意味を表わす。

<sup>くにがまえ</sup>  
(<sup>囗</sup>構) 囲む意味……………国・団・困

<sup>はこ</sup>  
匚(箱構) 箱の意味……………医・匪・匠

<sup>モン</sup>  
門(門構) 門の意味……………間・聞・関

<sup>キ</sup>  
气(気構) 蒸気の意味……………気・氛

<sup>ギョウ</sup>  
行(行構) 道の意味……………衛・術・街

<sup>ほこ</sup>  
戈(戈構) 武器の意味……………我・戒・或

<sup>シキ</sup>  
乚(式構) 標識の意味……………式・式

<sup>つつみがまえ</sup>  
勹(包構) 包む意味……………包・勺・勿

行は、古い形が“<sup>𠃉</sup>”で、道(十字路)を表わしたもの。気は、古い形  
が“<sup>𠃉</sup>”で、蒸気の上がる形を表わしたもの。戈は、古い形が“<sup>𠃉</sup>”で“ほ  
こ(やりの類)”の形を表わしたもの。乚は、“<sup>𠃉</sup>”で、地上に立てる小  
枝の目じるしを表わしたもの。戈と乚と核混同しやすいが、意味をよく  
考えて使えば、誤ることは少ない。

勹は、“<sup>勹</sup>”で、人が抱きかかえる形を表わしたもので、“抱”の本字  
である。